

「段落」(paragraph)とは、ある論題に関するいくつかの文の集まりのことです。そして、英語では、それらの文の集まりは、一定の筋道にしたがって、1つの「主題」(main idea)といくつかの「主題補助」(supporting idea)から構成されることになっています。(もちろん、このいずれでもない文もあります。たとえば、単なるつなぎの文や、大して重要でない詳細など)。

覚えておきたいのは、**英語では1つの段落に1つの主題しか入れられない**ということです。もし、別の主題を導入したい場合は、段落を改めて書かなければなりません。逆にいえば、このことを頭に入れて重点的に読めば、素早く英文の要旨をつかむことにもつながります。(日本語の段落分けと英語のparagraphとは異なる面があるという意味では、paragraphは「パラグラフ」とする方がよいかもかもしれませんが、本書では「段落」として進めます)

また、主題と主題補助、あるいは主題補助どうしは、連結の役目をする語・句および文によって結び合わされています。これらの「連結器」はさまざまな呼ばれ方をしますが、論旨の展開を指し示し、読者にとって一種の標識のような役目を果たしてくれるという意味で、ここでは「案内標識」(signpost)と呼ぶことにします。*「案内標識」については第3章のPART 1で詳しく学びます。

では、英語の段落を構成するパーツとそれらの役割について見ていきましょう。

【1】 主題 (main idea) ▶▶▶ 筆者のいちばん言いたいこと

「主題」とは要するに、その段落で筆者が「何をいちばん言いたいのか」ということです。筆者はそれをはっきりとわかるように書く場合がふつうですが、時にはそれとなく示す(暗示する)だけの場合もあります。

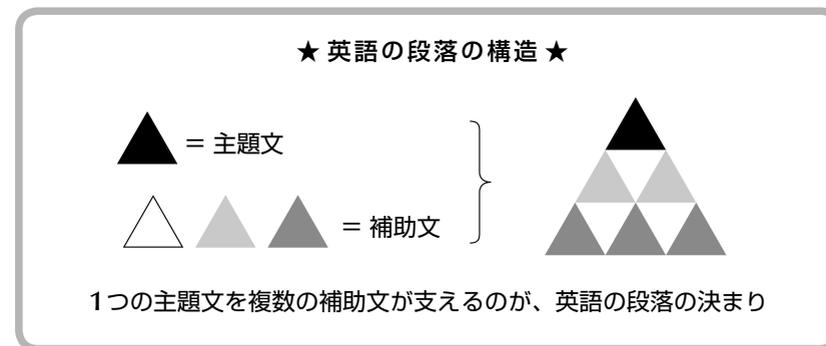
筆者が直接、主題を述べている文は「**主題文**」(topic sentence)と呼ばれます。主題文は、文体などの理由で必ずしも1つの文で表わされているとは限りません。上で述べたように、筆者が主題をはっきりと書いていない場合には、その周辺部分、すなわち、次にお話する「主題補助」をもとに読み手が解釈しなくてはなりません。つまり、筆者が何を暗示しているかを理解しなければならぬのです。

【2】 主題補助 (supporting idea) ▶▶▶ 主題に説得力を与える

「言いたいこと」だけを述べるのでは説得力がありません。筆者はそれ(主題)を展開・進展させるためにいろいろな方法を用います。「**主題補助**」は主題に対して理由・例示・因果・譲歩などの論理関係を示し、主題を支える(support)、つまり主題に説得力を持たせて読み手に伝えるものです。(その方法のタイプについては、PART 2で「英語の段落のタイプ」として学ぶことにします)

主題補助を表す文は「**補助文**」(supporting sentence)と呼ばれます。

以上に述べた主題文と補助文の関係を図示すれば、次のようになるでしょう。



前述のように、英語の段落を構成する要素には主題文や補助文以外の文(つなぎ文など)も含まれますが、ポイントを明確にするため上図では省いています。

【3】 主題文 (topic sentence) の位置 ▶▶▶ 頻度の傾向がある

筆者が主題を直接述べている場合、主題文が現れる位置は、頻度の高い順に、段落の ① 冒頭部 ② 末尾部 ③ 中間部 です。

段落の特徴を図示すれば次頁図のようになります。

次に、主題文 (topic sentence) を見つけるための方法をいくつか紹介しておきます。これは実際に英文を読むさいに、特に**短時間で英文の概略(要旨)をつかむのに有効なテクニック**です。

* 他に discourse marker (談話標識)、transition word (転換語) などの呼称がある。